

2001年8月7日、米国ペンシルバニア州
フィラデルフィア市において開催された
第三回信徒マリアニスト共同体世界大会において
本文書は承認された。

BEING IN COMMUNITY (共同体に生きる)

前書き

1993年チリーのサンチアゴにおいて開催された第一回信徒マリアニスト世界大会により批准された「信徒マリアニスト共同体のアイデンティティー」によりMLCの共同体のあり方が提言されています。「共同体に生きる」と題した本文書は、私達のアイデンティティーと霊性の本質的な特徴を展開するものです。

さらに、本文書は、スペインのリリアで開催された第二回世界大会で承認されたマリアニストのカリスマの特徴について考察するという合意内容と調和するものです。

共同体に生きる事は、マリアニストのカリスマの本質的な一面であり、よって私達の霊性を定義するものです。本文書は、共同体生活固有の問題に直面する現在そして将来のMLC共同体を曇りのないものとし、方向を定め、動機付けをする事を目的とします。

MLCは、フランスにおいてギョーム・ヨセフ・シャミナードによって創立された共同体が起源です。シャミナード神父は、アデル・ド・バツ・ド・トランケレオン、マリー・テレーズ・デ・ラムルースと共に、神のお導きのもと私達の母マリアとの契約により現在のMLCの基礎を築いたのです。マリアニストの召命は複数のグループから始まりました。共同体は、創始者によってボルドーのソダリティーに導入された特徴の一つで、彼らが福音宣教の手段としたのは、共同体を増やす事でした。今日、国際的な権利を持つ、信徒の私立団体としてカトリック教会に認められたMLCは世界中に存在し、現代の教会における文化の多様性を反映します。

グローバリゼーション、競争力、成功への強迫観念などの言葉で表わされるこの時代、私達は普通の人々の繋がりたい、社会を変えたい、そして信仰の共同体という面について考えを深めたい、という声に応えられる、具体的で目に見える場所としての共同体を必要としています。

又、私達は、全ての人々に神の言葉を伝えるという教会の使命に対して、信徒がより多くの責任を担っている教会の一員でもあります。教会が今の時代に関わる問題と今日の世界の現実に懸命に取り組んでいる事を認めながらも、教会の内部に対立や不寛容が存在する事に私達は懸念を抱きます。これらの問題に直面し、シャミナード神父の言葉が今日において大いに適切である事に気付いて、MLCはその挑戦に応えるよう呼ばれています。

この共同体についての文書は五つに分かれて展開されます。私達は、単に私達のアイデンティティーの特徴を定義するにとどまらず、それをどの様に生きるかの意味付けもした

いのです。

1. 私達は信仰共同体である。

1-1. 私達は、救済、自由、正義を共同体の中に、そして共同体を通して見出すと信じます。創造主である父、救い主なる御子、聖化する聖霊からなる三位一体の共同体は、多様性がありながら一致しており、生産的である共同体の模範です。イエス・キリストの内に、私達は他者をマリアと共に神の民の旅路を共にする兄弟・姉妹とみなします。

1-2. 共同体における私達の生活が、私達のマリアへの奉獻と創立者の教えに従う事に意味を与えます。私達は、創立者の考えに基づいたマリアとの契約を深く生き抜いていく共同体なのです。私達は、マリアの精神とマリアが教えた価値を発展させていく共同体なのです。

1-3. 私達は、信仰を生活の中心とします。私達は信仰には個人的な次元と共同体的な次元の両方があることを理解し、信仰の分かち合いを求めます。

1-4. 私達は、福音にすべての根拠を置いており、それゆえ神の言葉に注意を払います。私達は、お互いを良き知らせを伝える仲間として必要とします。同時に、私達の信仰は共同体の中で識別され、育まれ、祝われ、生きられなくてはならないのです。

1-5. 私達にとって、共同体は恵みとして、また困難を伴う課題として体験されます。共同体は私達自身の手だけで作られたものではなく、聖霊による呼び出しによって出来たものなのです。私達は、それを聖霊の招き、召命、そして人生の選択、として受け止めます。

1-6. 私達の共同体内における人と人との関係は、共同体を神がここにおられるという秘跡、そして会員間における信仰と愛を表現する場所、として受け止めることを通してのみ理解され発展させる事が出来ます。信仰を土台とすることによって私達は、真の共同体生活の遂行に必要な、対話を持続させる事、衝突を乗り越える事、赦しと和解、奉仕と愛、を発見する事ができるのです。

1-7. 共同体に生きる事は、神がここにおられるということと神の愛の教えであるしるしを体験するとき、私達の喜びの源となるのです。

1-8. 私達は、教会の一部です。私達にとっての教会は地域レベル・国レベルで体験されるものです。私達は、私達自身の共同体における体験を教会に捧げ、そして教会は、私達を使命に生きるよう送り出すのです。

2. 私達は人生の共同体である。

2-1. 私達は、異なった文化の中で生活する様々な国における信徒の共同体です。年齢、性格、経済状況、職業、そして趣味の違う者の集まりです。私達は、それぞれの個人的、社会的、政治的、そして経済的な全ての側面において深く関わっています。

2-2. 共同体は、所属し活動に参加したいという会員各人の自由意志による献身によって成り立つものです。

2-3. 共同体生活の最も具体的な表現方法は、例会、集い、そして祝い（儀式）です。会員は、所属する共同体の裁量により定期的に、また頻繁に集まります。

2-4. 私達は、共に祈り絆を強めます。いくつかの集まりでは、聖餐の祝い（ミサ）を通して献身の気持ちを新たにします。

2-5. 共同体に生きる事は、私達の日常生活の延長であり、不可欠なものです。私達の共同体は、共通の霊性と共同決定とをその特徴としています。こういった意味で、私達の共同体は、特定の主義を主張したり、治療の場を提供するグループとは違うものです。

2-6. 各共同体は、それぞれの文化の中で自身の組織を識別し、またどの様にマリアニストの特徴的価値を育成してゆくかを識別します。

2-6-1. 私達の共同体は、誰をも温かく受け入れます。私達は、個人を尊重し、多様性を歓迎します。喜び、そして純真な心を持って人々を新会員や訪問者として歓迎します。

2-6-2. 私達の共同体は、福音の教えとマリアニストのカリスマに従いつつ、個人として、また共同体として、その会員資格やその生き方、またその役務を識別してゆく場なのです。私達は個々の発展を大切にし、それぞれの持つ、神に与えられた賜物の成長と、生涯にわたる学びを支援します。各会員と共同体は一体のものとして、今後それぞれ成長することを決意して、健全で成熟し自由のうちに前進して行こうと努めます。

2-6-3. 私達の共同体は、奉仕の為、そして神の国の到来のために、会員が行っている活動を支援し、またそのような活動に会員を送りだします。それらの活動は、私達を前進させ、私達を刷新します。私達の共同体は、繋がり、友情、和解の場であり、それはまた、一番身近な共同体である会員の家庭の日常生活を補完し強めます。

2-6-4. 共同体の中で、私達は鋭い良心を培い、重要な技、即ち「新共同体の発足とその信仰の活性化の方法、社会分析と神学的熟考、つまり“時のしるし”を見分ける事、様々な役務での奉仕を行い、地球村における正義と平和のために行動する道」をまなびます。

2-6-5. 私達の共同体は、信徒の生活の全側面において支援し、信仰生活を構築するものとなります。課題と不安を抱えながらも、私達の日常生活こそ私達の信仰の証であり、マリアニストの霊性によってイエスに従う道なのです。

2-6-6. 私達一つ一つの共同体は、現代世界における希望のしるしであり、忠誠、平等、そして連帯の証しなのです。私達は、マグニフィカットに示されるマリアの勇気を身にまといますが、このマグニフィカットにおいてマリアは世の人々が求めている事に根底において応えてくださり、私達自身を、希望のしるし、忠誠、平等、連帯の証しへと変えていくのです。

3. 私達は共同体を造る共同体である。

3-1. 共同体において自分の信仰を生きると人々を招き支援する事は、私達の福音宣教の方法として最も望ましいものであり、効果的な社会変革の手段でもあります。

3-2. 新しい共同体は独自の祈り、祝い、互いの支援、証し、そして社会参加を展開させます。その共同体としての展開の中で、共同体はより大きな共同体によって導かれ、また通常は資質豊かな信徒あるいは修道者によって指導されます。

3-3. 各共同体は、共通のマリアニスト文化を作り上げていくと同時に、独自の伝統やシンボルを用いてその多様性のもつ美しさを表現します。

3-4. 各共同体は、それぞれの規模や活動に見合った組織作りをします。それぞれの共同体は、会員によって識別され選出された自治的な代表者のチームを持ちます。このチームは、特に共同体の信仰育成、養成、もてなし、そして社会活動の為の世話係りとなります。

3-5. 共同体は経済的に自立し、経費を分担していく方法を決定します。各共同体は、所属する国単位及び国際単位の共同体の主な出費に適切に寄附します。

3-6. 共同体を存続、成長させる為には、各共同体が常に刷新し新しい挑戦にも常に前向きでいなければなりません。その為には、養成と祈りが必要で、指導と資源（物的、人的、方法的）を探し求めなければなりません。

3-7. 私達は「養成」こそマリアニストのカリスマの共同体的側面を理解する根本的な手段であるとみなします。養成によって、共同体発展の為の教育が得られます。養成を通じて、会員は個人への支援を中心としたものから、宣教と他者への支援活動を中心としたものへと焦点を変えていくのです。

3-8. 各グループはそれ自体が宣教であり、よって、一人一人の会員が、共同体を造り成長させる為に活発に活動する事で宣教者となります。

4. 私達は、“永続的な宣教” 共同体である。

4-1. 聖霊降臨の時、聖母マリアは初代教会の中心にあつて、人々の信仰、祈りを支え、また聖霊降臨を待望する人々を支え続けました。福音に示されていることを使命とする者にとって、聖母マリアは使徒的靈性の手本です。

4-2. 私達の共同体は、それ自体が最終目的ではありません。ですから、私達は、自身の福音宣教の精神を共同体の内部で表明するだけでなく世界とのかかわりにおいても表明します。

4-2-1. 私達が共同体で体験する事は、宣教の準備となります。

4-2-1-1. 祈りを通して、私達は神の働きに心を開かれ、他者の必要性に対しても鋭敏になれます。

4-2-1-2. 養成を通して、私達は神が一人一人を愛しておられること、また私達が開放を必要としていることに対して理解を深めます。

4-2-1-3. 共同体生活は他者との関わりを築き、深め、元気付けます。

4-2-2. 私達は、会員が世界中の様々な役務に参加することを支援します。

4-2-2-1. マリアの宣教者として、私達は、私達の関わる分野で共同体を建設する者です。

4-2-2-2. 私達は、特に、会員が公的な場で福音を深く実践するよう励まします。

4-2-2-3. 私達は、会員、他の共同体、教会、また世界が使命を帯びて行う粘り強い活動を応援します。

4-2-2-4. 私達は新しい使徒的活動のイニシアティブにたいして積極的であり、また支持します。

4-3. マリアとマグニフィカートを歌いながら、私達の共同体は聖霊の働きに従おうと努め、不正に立ち向かい、自由と希望のメッセージを宣言しようと努力します。

4-3-1. 私達は、貧しい者、社会の周辺に追いやられた者と連帯し、正義と平和のためにはたります。私達は、人間の権利、人間性の開発を人間関係と生態環境の価値も含めて促進します。

4-3-2. 私達は、若い人々が歓迎されるようなMLCを発足させ、維持することに特に注意を払います。

4-3-3. 私達の「家庭の精神」とマリアニスト家族全会員間の協力は、教会の刷新に特別な貢献をします。

5. 私達は世界規模の共同体である。

5-1. MLCは、アリアンス・マリアル、汚れなきマリア修道会、信徒マリアニスト共同体、そしてマリア会の4つの枝から成る更に大きな共同体、マリアニスト・ファミリーの中の一つです。

5-2. MLCは異なったレベルで組織されています。つまり、地方レベル、国レベル、地域レベル（アジア、北米、南米、ヨーロッパ）そして国際レベルです。全ての会員はどのレベルでの活動にも参加するように招かれています。

5-3. 孤立した共同体は完全なものとはいえません。国レベルの組織を通じて、各MLC共同体は、その国、そして地域レベルに存在する他のMLC共同体と繋がっています。そして、国際レベルの信徒共同体（インターナショナル・オーガニゼーション・オブ・マリアニスト・レイ・コミュニティーズ）を通じ、世界のMLC共同体と繋がっている。

るのです。 このように全ての共同体は、地方レベルの関心事を超えた、より大きな世界的視野によって豊かなものとされるのです。

5-4. それぞれのMLCは、地方的なものであり同時に全世界的なものでもあります。 各共同体は、地方において活動しますが、マリアに倣って、世界にキリストをもたらすという働き的一端を担っているのです。 この働きは全世界に広がり多様な文化の中で活動するマリアニスト家族が全体として持っているものなのです。

5-5. 各MLCは、正会員の資格をもって、地方・国・地域・国際の各レベルでのマリアニスト家族評議会の創設に参加します。 私達とマリアニスト家族の他の枝との関係は、連帯・平等・自治権と多様性の尊重、そして責任の分担に基づいています。 これらの関係を生きる事によって私達は、創立者が教会について持っていた預言的な視点を証しするのです。

マリアニスト信徒共同体は、
世にキリストをもたらすマリアの使命に参加する
国際的なキリスト教徒の共同体です。

フィラデルフィア2001年
共同体文書